

第9回島田杯 第3回ほっともつと旗争奪・第3回やよい軒杯争奪八重山地区学童大会 実施要項(4年生以下)

- 1 目的 軟式野球に親しむ少年・少女に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年のスポーツクラブの振興を図るとともに21世紀を担う少年・少女の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
- 2 主催 (一社)沖縄県野球連盟・琉球新報社
- 3 主管 (一社)沖縄県野球連盟八重山支部
- 4 会期 令和6年6月8日(土)・15日(土) 2日間
8日(土)午前9時から・15日(土)午前9時から
- 5 会場 ロートスタジアム石垣(市野球場)
- 大会要項・
6 申込書配布・抽選会 (とき):令和6年5月13日(月)午後6時から
(場所):石垣市中央運動公園野球場1階会議室
- 7 出場資格 (1) 令和6年(公財)全日本軟式野球連盟・沖縄県野球連盟に登録されたチーム(選手)
(2) 小学生(4年生以下)で編成されたチーム※スポーツ少年団との二重登録は認める。
(3) 硬式ボールを使用している団体に登録されている選手は加盟できない。
(4) 1チームの選手は、選手10名以上25名以内とする。(登録は、男女を問わない)
(5) 20歳以上の責任者をチーム代表者として届けなければならない。
(6) 本大会に出場する選手は全員スポーツ安全傷害保険に加入すること。
- 8 適用規則 2024年公認野球規則、2024年競技者必携、学童に関する事項及び別に定める特別規則を適用する。
- 9 大会規律 規則違反に対しては(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
- 10 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球内外ゴム(J号)を使用する。
- 11 参加料 15,000円
- 12 表彰 優勝: 賞状、メダル
準優勝: 賞状、メダル
- 13 引率責任者 各チームは、必ず引率責任者(20歳以上の成年、監督が兼ねても良い)をつける。
引率者の服装は、スポーツ行事にふさわしいものを着用する。
- 14 競技方法 (1) 背番号は、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とし選手は0番から99番とする。
(2) 試合中打者、走者、次打者、ベースコーチは連盟公認の両耳付ヘルメット、捕手は連盟公認マスク、スロートガード、プロテクター、レガーズ、捕手用ヘルメットを着用しなければならない。金属、ハイコンバットは公認(JSBB)マーク入りを使用すること。
(3) 監督、当該選手に限り抗議することが許される。
(4) あらかじめ2024年度競技者必携、特に学童部に関する事項を熟読しておくこと。
(5) **全試合5回とし、正式試合(コールドゲーム)になる回数は、3回以降10点差とする。**
(6) **5回を完了または試合開始後1時間30分経過し同点の場合は、引き続きタイブレーク方式を行い7回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。**
(○×方式)ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。

※タイブレーク方式(特別延長戦)

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、**その前の打者を二塁とする。**すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、**投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。**

- (7) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(試合時間に入れない)
- (8) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止考慮し、**1人の投手は、60球を投球できる。**
試合中に投手は60球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる
- (9) 塁間については、塁間2.1mで投手間が1.4mで行う。
- (10) 主催者は、負傷、その他の事故について応急処置を除き、一切の責任を負わない。
- (11) 熱中症対策として、保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。
- (12) メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。

その他②

- ① 選手の手袋の色は自由で良い
- ② 基本的にソックス、ストッキング2足を履く(白色のソックスが見えなくてもよい)
- ③ アイブラックの使用を認める。リストバンド、リストガードも許可する。
- ④ ネックウォーマーの使用を認める。

- 14 競技方法 (13) 学童部の投手は、変化球を投げることを禁止する。変化球を投げた場合とは、投球が審判員によって変化球と判断された場合をいう。投手が変化球を投げた場合は、投げないように監督及び投手に厳重注意する。注意したにもかかわらず、同一投手が同一試合に変化球を投げたときは、その投手を交代させる。なを、その投手は他の守備位置につくことは許されるが、**大会期間中投手として出場することはできない。**
- (14) 申告故意四球について
守備側チームの監督が審判員に故意四球の意思を伝えた場合、打者には、ボール4個を得たときと同じように、一塁へ進むことが許される。
- (15) 反則投球に関する規則改正
(1) 自由な足を一時停止して打者に投球、塁への送球に変更しても“ボーク”
(2) 自由な足を上げ下げして塁への送球(けん制)に変更した場合は、投球動作から塁への送球に変更したという理由で“ボーク”
- (16) 2試合目以降については、前の試合が終了した時点から15分後を目安として試合開始をする。(決勝戦は30分後)
- (17) オーダー用紙は、大会本部が用意します。(第1試合は8:30までに、第2試合以降は4回裏終了時まで提出)
- (18) 監督またはコーチ等が投手の所へ行く回数
(1) 監督またはコーチ等が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)は、2インングに1回行くことができる。
(2) 監督またはコーチ等が、同一インングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手の所へ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備位置についたときは、同一インングには再び投手に戻れない。
- (19) 守備側のタイムの回数制限
(1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレークも含む)は2インングに1回行くことができる。
(2) 野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチ等が行けば双方1度として数える、逆の場合も同様とする。
投手交代の場合は、監督またはコーチのみ回数には含まない。
- (20) 攻撃側のタイムの回数制限
攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、2インングに1回とする。
- (21) 試合時間の制限について
(1) 先行がリードしていて90分が経過した場合は裏の攻撃まで行う。
(2) 裏の攻撃中75分を超えた時点で試合終了となるが、審判員は、最後の打者の打撃開始前にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。
- (22) チームの責任は、引率者において一切負うものとする。
- (23) 大会出場中の選手の負傷については、大会本部において応急処置後、各チームにおいて対処する。
- (24) 野球連盟公認マーク(J・S・B・B)が完全に消えた用具は使用しないこと(木製バットは除く)
- (25) 攻守の交代は敏速に行い、先頭打者、次打者とランナーズコーチは、攻撃前のミーティングには参加せず速やかに所定の位置につき、投手は、プレート上で捕手のサインを受け時間の短縮に協力する。
- (26) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見ること。
- (27) 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。
- (28) **今大会の優勝チームには第9回沖縄県学童軟式野球大会への出場資格を与える。**
(中央大会:中部南支部主管) 会期:令和6年8月19日(土)~20日(日) 2日間